

「モノづくり」に、情熱を

富士フイルムワコーケミカル株式会社

<https://www.fujifilm.com/wkcm/>

本社 〒889-1601 宮崎県宮崎市清武町木原3558番地 TEL 0985-85-6761(代表) FAX 0985-55-6008
コーポレート部 〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5-2-3 TEL 0463-21-1560(代表) FAX 0463-23-9865

「化学反応=Chemistry」の中には、
人々に笑顔を与える未来がある。

製品分野

試験研究用
試薬

標準試薬

医薬品原薬・
中間体

フラットパネル
ディスプレイ材料

レントゲン
フィルム用材料

写真感光材料

シリカゲル

電子材料
記録メディア用材料

色素材料

機能性ポリマー
および添加剤

刷版用材料

すべての物質は、元素から成り、
元素が結びつき分子となり、化合物(モノ)となります。
人類は化学反応により、人々を豊かに、
そして幸せにする様々なものを創り出してきました。

Chemistryには無限の可能性が
あります。
これからももっともっと人々の暮らしに役立つ洗練されたものを
Chemistryによって生み出していくことができます。

当社は、「モノ」をつくる「モノづくり」に情熱を注いでいます。
カタカナの「モノ」を使った「モノづくり」という言葉には、単に製品をつくること以外に、
製品をつくる過程の中で新しい方法を考えること、より良いサービスを取り入れることなど、
モノに「付加価値」を吹き込む活動まで含まれます。
そして、一番大切なのは、人をつくる(=磨く)ことだと私たちは考えています。

当社と一緒に「モノづくり」をしませんか。
私たちも、あなたと出会うことでどんな化学反応を起こすのか、楽しみです。

あなたの手の中にも、
きっとある。

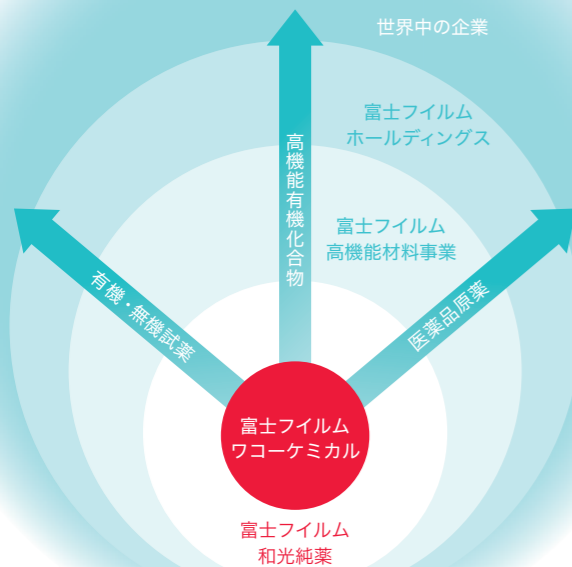
スマートフォンの登場によって、生活は劇的に便利になりました。
いつでも地球の裏側に住む友人と会話が楽しめるし、
写真を撮って家族に送ったり、SNSにあげることもできます。

スマートフォンやタブレットのディスプレイには、
富士フィルムワコーケミカルが生産し、
光の通過をコントロールする液晶材料が使われています。
教育や医療の現場でもタブレットが普及するなど、
情報社会の中でディスプレイの使われ方も進化しました。
高度な技術が暮らしの身近なところで使われるようになっています。
きょう、あなたも当社の製品に
タッチしたかもしれません。

健康を願う気持ちに、
応えたい。

病気にならないことが一番です。
しかし私たちは病気にかかるリスクを抱えて生活しています。
消毒剤を手に入れやすいこと、速やかに検査できること、
適切な薬が迅速に投与されることが、私たちの健やかな暮らしを支えています。

富士フィルムワコーケミカルは、医薬品分野に欠かすことができない
クリーンで高品質な生産ができる技術力を持っています。
またグループ会社との協力により「予防」「診断」「治療」のすべてに携わることで、
人々の健やかな生活のために力を発揮しています。
たとえば、レントゲンフィルム・医薬品原料を
はじめとする様々な素材の提供。未来科学の発展をめざす
世界中の企業にも品質の安定した試薬の提供を行っています。
さらに、農作物や水道水の安全性を検査し、判断するための分析用試薬も
製造するなど、当社の製品は医療分野だけでなく
日常生活の身近なところでも人々の健康を支えています。



有機合成、プロセス化学・エンジニアリング、分析、あらゆる科学技術のプロ集団。

有機合成、プロセス化学(反応—晶析—ろ過—乾燥—分散など)、エンジニアリング(設備設計・建設・保全など)、分析における技術を融合し、製造期間の短縮とコストミニマムを追求しています。

大学で学んだ専門知識は大いに役立ちます。さらに技術や知識を重ねるために、社外講師を招いた勉強会の開催のほか、学会への参加も推奨。日々成長を実感できるでしょう。努力がお客様のご満足や、環境負荷の低減につながったときには、大きな喜びになるはずです。

また、技術部門と製造部門の現場が近く、技術支援を行いながら量産試作の実施も可能。2つの領域を自由に行き来したダイナミックな研究が実現できる可能性に満ちています。

求める人材や必要なスキル・技術

- 有機合成・化学工学・プロセス化学の知識
- 独自の技術やアイデアを創出し、顧客や周囲に提案する力
- 実験結果や状況観察から本質を見抜く力
- 様々な部署やエキスパートと協働し、win-winの協力関係を構築する力

有機合成技術

- 年間500種類以上の多様な有機化合物の製造と、写真感光材料で培った精密化学の合成力を基礎として、短いステップで合成ルートを設計します。
- 機能性材料や低分子医薬品の製造法の検討を行います。
- ラボでの合成ルートや新規反応の研究を行い、実機での製造につなげます。
- 新しい合成法を確立し、特許も取得しています。

プロセス化学・エンジニアリング技術

- グラム単位でのラボ研究から、シミュレーションを経て実機でのキログラム単位・トン単位での生産を実現するスケールアップ研究を行い、検討期間の短縮とコスト削減を行います。
- 反応・晶析・ろ過などの単位操作を合理化することで、既存製品の生産性の向上と効率化を図ります。
- ケミカルハザード対応技術や静電気対策等の防爆技術に関する研究を行います。
- 安定・効率的な生産を実現する生産設備・制御システムの検討・設計・導入を行います。

分析技術

- 高い品質を維持し、管理するための最適な分析方法の検討を行います。
- プロセス化学(反応—晶析—ろ過—乾燥—分散など)の解析、原料・中間体・製品の品質設計、微量不純物の解析、異常時の原因分析等を行います。
- インラインNMR装置などを使用したリアルタイム分析技術を駆使することで、反応や晶析の詳細なプロセスを解析し、安定的な合成法の構築をサポートします。

これからも「モノづくり」に 情熱をそそぐのは、人だ。



製造

化学反応や物理現象を感じるおもしろさも製造現場は、ガラスでできた細かな器具や大型の設備を使って化学物質を日常的に取り扱う職場です。そのため、マニュアルを整備し、人と人とのコミュニケーションを大切に、安全第一で日々の業務に取り組んでいます。

モノづくりの最前線では、設備や器具の準備から、各製造工程、出荷までを一貫して担当するため、一つひとつの業務を体得するほど喜びと充実感を感じることができます。

また、化学反応や物理現象を間近で見、装置の構造や原理を理解することにより、さらなる成長につながります。

安全に関する取り組み

様々な有機化合物を取り扱う職場のため、より安全な企業活動を推進するための取り組みを行っています。火災事故を防ぐために日頃から導通やアース線など設備の点検を実施することはもちろん、たとえば着火源となる静電気に詳しい専門家が工場巡視を行って危険源を取り除いたり、実験を交えた分かりやすい講習会で従業員の安全に対する知識と意識の向上を図ったりするなど、事故の未然防止対策を行っています。



モノづくりの流れ(例:化成品)

製造 >>

- 秤に載せ原料を量る

- 原料を反応釜に投入する
- タッチパネルで反応釜の操作をして記録する

原料入荷



計量



仕込み・昇温・滴下・反応

目的物(結晶)ができる



- ろ過終了後にろ過器から結晶を取り出す
- 結晶の塊を網に通して細かくする

ろ過

ろ過器で結晶と廃液を分離する



- 乾燥機に湿った結晶を入れる
- 乾燥機から結晶を取り出す

乾燥

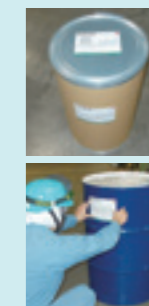
乾燥機で湿っている結晶をサラサラな粉にする



- 製品(結晶)を袋詰めし、ドラム缶に入れてラベルを貼る

梱包

出荷の準備をする



出荷

品質管理 >>

- 原料の品質を検査する

- 純度、粘度、濃度、水分量など、製品に応じて必要な検査を行う

- できあがった製品の品質検査をする

品質管理

品質を守る最後の砦

お客様に品質を保証するためには、決められた試験法に従って正しく検査を実施することが重要です。つまり、ルールを守ることです。

当社の製品は粉体や液体状であり、外観だけでは判断がつかないため、様々な分析機器を使用して、その製品が品質基準を満たしているかどうかを検査し、判定します。分析機器の進歩は日進月歩です。それに合わせて私たちも日々勉強をし、自分たちの成長を実感しています。

また鋭い洞察力で、いつもと違う変化を見落とさないことが製造工程の安定化や改善につながります。

世界中の患者さんの健康を支えている

たとえば薬の有効成分となる原薬の品質評価を実施する工場では、世界中の多くの患者さんの健康を支えているという、使命感と大きなやりがいを感じられるでしょう。

当社の品質管理は国際規格であるISO9001(グループ会社と同じ枠組みで認証取得済み)に沿って実施しており、医薬品に関してはGMP(Good Manufacturing Practice: 医薬品の製造管理および品質管理の基準)を遵守した製造を行っています。GMPは、品質要件だけではなく製造する過程についても適切に管理し、品質の良い医薬品をつくることを目的として各国で整備されています。「人為的な誤りを最小限にすること」、「汚染および品質低下を防止すること」、「高い品質を保証するシステムを設計すること」を三原則としています。



高品質を支え、
お客様のニーズに応えるネットワーク

事業所
工場



1 本社・宮崎工場



宮崎県中南部の宮崎市に位置し、医薬品原料、中間体・原薬、機能性ポリマーの製造工場で、少量スケールのGMP対応が可能です。市街地まで自動車約20分、宮崎空港まで約15分、東九州自動車道インターチェンジまで約10分と交通の便にも恵まれています。

所在地：宮崎県宮崎市清武町木原3558番地
敷地面積：35,000㎡
TEL：0985-85-6761 FAX：0985-55-6008

2 広野工場・品質保証部



東に太平洋を望み、西に阿武隈の山々が連なる自然豊かな福島県広野町にファインケミカルと環境の共生を目指した“インダストリアルパーク”として1990年に操業を開始。10,000Lのガラスライニング反応器などを有する当社最大規模の工場です。医薬品原薬・中間体の他、写真用薬品等のファインケミカルをグループ内外のお客様に供給しています。

所在地：福島県双葉郡広野町上北迫字岩沢1-34
敷地面積：139,000㎡
TEL：0240-27-4171 FAX：0240-27-3505

3 埼玉工場



埼玉県児玉郡の児玉工業団地に位置し、多種の試験・研究用試薬および機能性ポリマーを生産しています。関越自動車道インターチェンジまで自動車約10分、上越・北陸新幹線の本庄早稲田駅まで約15分と近距離にあります。1986年から操業しています。

所在地：埼玉県児玉郡上里町大御堂1450-28
敷地面積：7,000㎡
TEL：0495-33-9121 FAX：0495-33-9123

4 平塚工場・コーポレート部



湘南の海へと続く相模川のほとりに位置し、1961年から操業しており、情報記録材料の進歩とともに歩み、生産品目の多様化に応じてまいりました。40を超える多種多様な生産設備を持ち、数キログラムから数トンまでの少量多品種の化成産品を生産しています。

所在地：神奈川県平塚市東八幡5-2-3
敷地面積：36,000㎡
TEL：0463-21-1560 FAX：0463-23-9865

5 東京工場



都心から1時間弱、今も風情が残る川越城の城下町として栄えた川越市に位置し、1964年から操業しており、試薬や少量多品種の化成産品を製造しています。3000L以下の汎用反応設備を多数保有しており、数百グラム～数十トンの生産が可能です。

所在地：埼玉県川越市工場1633
敷地面積：65,942㎡
TEL：049-231-1034 FAX：049-232-8027

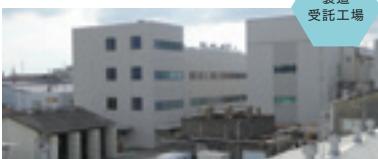
6 愛知工場



三河湾の一部を埋め立てた工業団地(御津二区)の一角で2004年から操業しています。レジスト用材料、機能性ポリマー、医薬品原料/中間体、治験原薬、化粧品、ディスプレイ材料等の化成産品や粉体・液体の培地を生産する製造棟を有しています。

所在地：愛知県豊橋市新西浜町2-2
敷地面積：176,000㎡
TEL：0532-31-0541 FAX：0532-31-0614

7 大阪工場



現在の地に1962年に移転し各種試薬の他、医薬品原料、ライフサイエンス試薬、クロマトグラフィー用製品を製造しています。大阪の中心地梅田、大阪国際空港、名神高速道路などの近くに立地し交通の便に優れています。

所在地：兵庫県尼崎市高田町6-1
敷地面積：23,323㎡
TEL：06-6499-1501 FAX：06-6499-2801

8 播磨工場



赤穂市街の東西に広がるグリーンベルトと呼ばれる自然豊かな地域で1968年から操業しています。瀬戸内海にも面し、JR赤穂線が工場の敷地を東西に通過しています。重合開始剤(アゾ化合物)や増粘剤などの専用ラインを有しています。また、醗酵試薬の研究も行っています。

所在地：兵庫県赤穂市折方1543
敷地面積：21,132㎡
TEL：0791-43-2137 FAX：0791-43-2907

● 製造技術センター (平塚・広野・宮崎・埼玉・東京・愛知)



当社の技術組織として、有機合成反応、化学工学プロセス、分析・解析、GMP対応等での豊富な経験を基に化成産品および高薬理活性を含む医薬品の生産プロセスの検討と工業化を担っています。平塚・広野・宮崎・埼玉・東京・愛知に拠点があります。

所在地：神奈川県平塚市東八幡5-2-3
敷地面積：36,000㎡
TEL：0463-21-1560 FAX：0463-23-9865